

【4-8 定性的システマティックレビュー】

CQ	25-1	高齢者乳癌に対する術後薬物療法として抗HER2療法は勧められるか
P	術後薬物療法として抗HER2療法が必要と考える高齢者乳癌	
I	抗HER2療法を行うこと	
C	抗HER2療法を行わない	
臨床的文脈	HER2陽性の高齢者・原発性乳癌に対する術後薬物療法として、抗HER2療法が勧められるのかを検討した。	
O1	抗HER2療法を行うことにより、全生存期間は改善する可能性が高い	
非直接性のまとめ	なし	
バイアスリスクのまとめ	なし	
非一貫性その他のまとめ	なし	
コメント	高齢者のみを対象としたRCTが存在せず、NSABP B-31/NCCTG N9831の統合解析の結果のみしかない。(HR:0.51 95%CI:0.37-0.69)	
O2	抗HER2療法を行うことにより、無病生存期間は改善する	
非直接性のまとめ	なし	
バイアスリスクのまとめ	なし	
非一貫性その他のまとめ	なし	
コメント	HERA trialとNSABP B-31/NCCTG N9831のサブグループ解析	
O3	高齢者に特有の抗HER2療法による有害事象に関する報告はない	
非直接性のまとめ	なし	

バイアスリスクの まとめ	なし
非一貫性その他の まとめ	なし
コメント	高齢者のみのデータはないが、トラスツブマブ追加によりうっ血性心不全は増加 (HR:5.11,95%CI:3.00-8.72)し、左室駆出率は低下する (HR:1.83,95%CI:1.36-2.47)と報告されている

O4	QOLに関しては、報告がなく不明である。
非直接性のまとめ	なし
バイアスリスクの まとめ	なし
非一貫性その他の まとめ	なし
コメント	なし